

市議会安否確認訓練について(検討事項記入シート) 令和6年8月28日実施分

H30.12 議会基本条例制定後、新型コロナウイルス感染症まん延が落ち着いたこと、前回の議会基本条例の達成状況評価(R05.03 とりまとめ)における課題となっていたことから、市議会として安否確認訓練を行ないました。

(参考) 議会基本条例の達成状況に関する評価、点検(令和4年度)における市議会の評価コメント

議会基本条例	令和4年度評価点検における評価コメント
(災害時における議会の活動) 第13条 議会は、大規模災害等が発生したときは、議長を中心に羽島市議会災害対策本部を設置し、市内の被害状況等の情報共有を図り、かつ市長等と連携するとともに適切な対応について協議し、市民の安全確保及び被害の拡大防止に努めるものとします。	議会としてまとまった訓練を実施した経験がないことが、結果につながったものと見受けられ、議会としての取り組み強化が課題です。 コロナ禍の経験を経て、デジタル化の推進の要素を含め、議会の災害対応力強化に努めていきたいと考えます。
(災害時における議員の活動) 第14条 議員は、大規模災害等が発生したときは、議長へ自らの安否及び所在を明らかにするため、連絡するものとします。 2 議員は、大規模災害等が発生したときは、地域における被災者の安全の確保、避難所への誘導、避難所に対する支援を行う等、地域の一員として共助の取組が円滑に行われるよう努めるものとします。	地域での防災訓練等に参加している議員もいるが、各議員の認識が結果につながったものと見受けられ、前条(災害時における議会の活動)の趣旨とあわせ、議会としての取り組み強化が課題です。 コロナ禍の経験を経て、デジタル化の推進の要素を含め、議会の災害対応力強化につながるよう、議員力の向上に努めていきたいと考えます。

1. 市議会安否確認訓練における自己評価について(8月28日実施のことについてお答えください)

項目	自己評価												
①基本条例および基本条例達成状況の点検、評価における課題について認識することができましたか。	5段階評価 <table border="1"> <tr><td>5(良い)</td><td>5</td></tr> <tr><td>4</td><td>9</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>1(悪い)</td><td>0</td></tr> </table> 得点 72 達成率 80.0	5(良い)	5	4	9	3	3	2	1	1(悪い)	0		
5(良い)	5												
4	9												
3	3												
2	1												
1(悪い)	0												

項目	自己評価	現状での課題(提出されたシートの記載を転記)	考えうる方策や取り組み(提出されたシートの記載を転記)								
②前回と比べ、訓練への対応はスムーズにできましたか。	5段階評価 <table border="1"> <tr><td>5(良い)</td><td>9</td></tr> <tr><td>3</td><td>6</td></tr> <tr><td>1(悪い)</td><td>1</td></tr> <tr><td>未回答</td><td>2</td></tr> </table> 得点 64 達成率 80.0	5(良い)	9	3	6	1(悪い)	1	未回答	2	<ul style="list-style-type: none"> ・台風の影響でアラートがならなかったが、ラインで連絡を取ることができ、前回よりもスムーズに連絡をすることができました。 ・LINE ワークスを活用した運営については報告のしやすさや、管理者側におけるチェック機能など良かったと思います。 ・実際の災害を考えた場合に情報共有の仕組みとして「災害場所の写真」を共有するといった二次利用の方法も検討していくことが必要だと思います。 ・安否確認訓練も、市外にいるときには わからなかった。 ・他市にいた為行動が遅くなってしまった。 ・ラインワークスが思ったより簡単だったため、スムーズにできた。 ・議長への安否確認・所在については、LINE ワークスの導入により、スムーズに出来たと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していくことが大切だと考えます。 ・今回の台風10号に対する「災害対策本部」が設置されたとすれば、実際に見学や参加したい。 ・離れた地域にいる時の対応が準備出来ていないので訓練したい ・議員も地域の一員となり共助の行動しなければならない。出来たら各議員の近辺の被害状況や助けが情報に分かると動き易いのでは？ ・連絡が取れないときの訓練も必要かもしれません。 ・実施時期を、月の上旬、中旬、下旬くらいの幅で予告しておいて、事前の日時は決めないほうが良いと思う。
5(良い)	9										
3	6										
1(悪い)	1										
未回答	2										

項目	自己評価	現状での課題(提出されたシートの記載を転記)	考える方策や取り組み(提出されたシートの記載を転記)	
③基本条例第13条及び第14条の趣旨を認識することができましたか。	5段階評価	<ul style="list-style-type: none"> 電話だけの連絡からラインワークスを活用した報告となり、連絡手段が増えたことはよかったです。 電話やインターネットが使えない場合の連絡手段。 自宅にての安否確認は気持ちの上で対応ができるがそれ以外での場所での対応が不安。 認識はある程度、出来ていると思うが、本当に災害に見舞われた時に、条例に示された様な行動が、出来る様日頃から訓練や研究会等に参加しておくべきだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 通信が使えない時は、議会事務局に直接行くまたは最寄りのコミセン、保育園などから、MCA無線で連絡する。 いろんな場面を想定しての訓練がしたい。 普段から防災研究会やレスキュークロス羽島に参加してノウハウは一応認識しているつもり。 これからも何度も訓練を続けて行きたい。 地域の防災訓練等に参加する機会に議員は、来賓ではなく共助の一員としての自覚を持って参加するべきである。 	
	5(良い)			5
	4			9
	3			2
	2			2
	1(悪い)			0
得点 71 達成率 78.9				

項目	自己評価	現状での課題(提出されたシートの記載を転記)	考える方策や取り組み(提出されたシートの記載を転記)	
④訓練を通じて災害発生時等にとるべき行動について考え、認識することができましたか。	5段階評価	<ul style="list-style-type: none"> 深夜に火災が発生したが、発災の時間帯によっては連絡することが難しい。 自分自身ある程度理解していると思っていたが、いざという時出来るのかと不安になった。 災害発生時の、議員としてやるべき事、やってはいけない事に対する認識が十分にはできなかった。 訓練だと思って安否確認の連絡が済んだら終わりでは無く、その後何をすべきかもっと考え行動するべきだったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> いろんな場面を想定しての訓練が良いと思います。 安否確認後の、羽島市の被災状況に応じた、各議員のやるべき事、やってはいけない事の、LINEWORKSを使った各議員への連絡など。例えば、至急議会事務局へ参集、自宅待機、避難所巡回視察、市対策本部への連絡禁止、などなど。 執行部は災害対策本部を立ち上げて情報の収集に当たっているのもその情報を議員にも流して頂き我々も動ける範囲で行動を取れる様にしたい。 	
	5(良い)			4
	4			6
	3			4
	2			3
	1(悪い)			1
得点 63 達成率 70.0				

2. 今回、市議会として3回目の安否確認訓練でしたが、実際に行動を伴う訓練を行ったことを通じて、課題や今後の展開などについて考えがあれば(単なる批評、要望以外で)ご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> 議員として、安否確認を行うという行動に関しては訓練を通して意識、行動できるようになるが、議会としてどのように行動するかについては何か訓練を考える必要があるともいえる。 上記と同様になるが 安否確認だけでなく、条項にあるように「地域における被災者の安全の確保、避難所への誘導、避難所に対する支援を行う」などの訓練に取り組みたい。 訓練を何回も携わる事により自覚出来ると思うので事務局に連絡した後の次の行動ができるようになる訓練が良いと思います 安否を報告した後に議員が何をすべきなのか、何をしてはいけないのか。発生した羽島市内の災害の状況や市の対応状況に応じた、議員がやるべき事、やるべきでない事の指示徹底が、LINEWORKS を通じてあるのかどうか。などなどの運用のタイムライン的なマニュアルの検討が必要かもしれません。また、それを申し合わせとして文章化し、市民を含め周知徹底する必要もありそうです。 毎回、安否確認のみで済ませずに、短時間でいいので何処に集合の号令をかけてみたらどうでしょうか？ 回数を重ねる事でよりスムーズに対応できるようになってきた。
--

3. その他、市議会の災害対応力をあげる取り組み等について、お気づきのことがあれば(単なる批評、要望以外で)ご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時には地域の方と協同しコミュニティセンターなどで避難場所の開設などをすることになると思います。そのような場合に対応できるような訓練(他組織との共同での)があると良いと思います。 議員のなかに「防災・災害」担当の委員会を設け、執行部とともに対策・対応に当たれるよう、取り組むべきだ。 防災に対しての勉強会をしたり、体験レッスンを受けるなど災害対応力を身に着けたい。 「市議会の災害対応力」とは何かについての議論を深め、その内容を具体的に文章化し、市民へ公表するような取り組みが必要と考えます。市執行部が「市議会の災害対応力」をどのように考えているかについても、具体的に文章化しておく必要があります。災害時の地域の要望を市へ伝えて実現するように、各議員が個別に市へ働きかけることが「議会の災害対応力」ということであれば、特に議論する必要はないのですが、恐らくは、そのような働きかけが「市議会の災害対応力」ではないと思います。むしろ、そのような議員個別の行動は、市の災害対応に際して有益ではない可能性があるかもしれません。

- 毎回、訓練をやるかと判ってやっているので一度、予告なくやるべきだと思う。
- 災害が発生したあとの被災者の安全確保や避難所への誘導、避難所への支援などを考えると議員の行動が市民の要望や実態を市に繋げ市民の安全を守ることができる。そういった議員は多い方が良く、定数を減らすことは大変危険だと感じた。
- 市の防災対応状況、避難所の状況、備蓄品の状況などの現状を実際に確認し、把握することに取り組むことを行ってはと思う。